

introduction

デュオ・ベータ・管球式コントロール・センター

CL34

¥168,000 木箱別売¥15,000

音楽の再現性と、すぐれた特性を併せもつコントロールアンプ。
素材に真空管、回路技術にデュオ・ベータの組みあわせが実現。



LUX CORPORATION

真空管、デュオ・ベータ、DC。あらゆる意味で“驚異”

管球式アンプの卓越した音楽再現性。これをトランジスタ回路で実現したデュオ・ベータ。

裸特性のすぐれたDCアンプ回路と、適量NFBプラスDCサーボの組みあわせです。

このDCアンプを真空管で構成すれば。

デュオ・ベータ回路を、もういちど真空管にかえしてやれば……

管球式の可能性を極限にいたるまで引き出す、画期的なアンプの誕生です。



STEREO CONTROL CENTER : LUXMAN CL-34

管球式のDCアンプ[°]

3段直結増幅回路——イコライザ

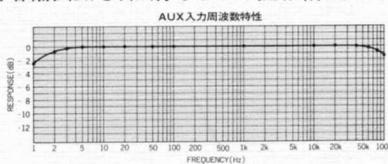
真空管でDCアンプを構成することは、トランジスタやFETのように簡単ではありません。あつかう電圧が大きく、しかもマイナス電源を必要とするというような電源の問題はもちろん、動作条件の変化に左右されないため、高度な安定化を実現する技術が要求されます。ここには、伝統あるラックスの管球式アンプ技術が活きています。回路としては、イコライザとして十分なゲインを得るために3段直結増幅回路を採用し、出力段(3段目)はS.R.P.P.(シャント・レギュレーテッド・プッシュプル)としています。S.R.P.P.は非直線動作を自ら補正するよう動作して歪みを打ち消すとともに、出力電圧が高い、すなわち耐入力が大きくなること、出力インピーダンスがきわめ

て低い、などさまざまな利点をもつ回路です。

段間結合コンデンサを追放したことによる音の色付けの排除、素材そのもののすぐれた素質を引き出した裸特性。デュオ・ベータ搭載の前提となる諸条件を、完璧なまでに達成したイコライザです。

2段差動増幅回路——フラットアンプ

ゲインをさほど必要としないフラットアンプ。ここには、理論的にも偶数次歪みを発生しない2段差動増幅回路を採用。もちろん直結構成です。3

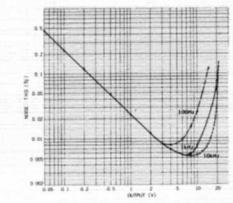


~70,000Hzという管球式の常識を超えた周波数

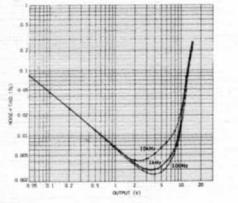
特性、イコライザとともに0.008%以下という低歪率。そのいずれもが、過度のNFBや付加回路にたよることなく達成されています。ここにも、デュオ・ベータ回路の思想が活きているわけです。

さらにこのフラットアンプのNFBループ内にトーンコントロールを組みこんだシンプルな構成、完全な切り離し(ディフィート)も可能にしています。

イコライザアンプ全高調波歪率特性



AUX入力全高調波歪率特性



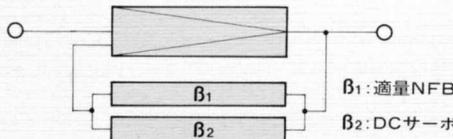
管球式のデュオ・ベータ

適量NFBとDCサーボ—デュオ・ベータ回路

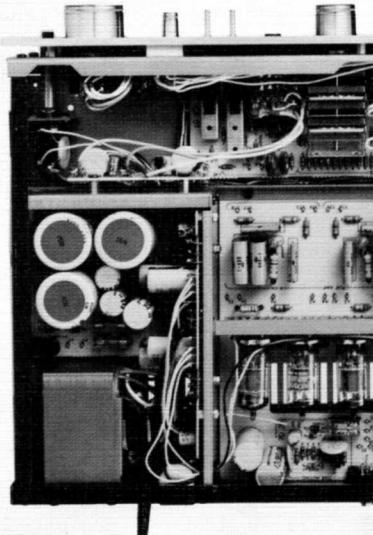
ダンピングの効いた低域と艶のある透明度の高い中高域。デュオ・ベータ回路が実現したすぐれた音楽の再現力を、管球式アンプ回路にも採用しました。NFBにたよらない裸特性のすぐれたアンプ回路、という条件はまさに管球式アンプそのものです。CL34は、ここに管球式のDCアンプを採用。回路の面でも、さらに大きく前進しました。管球式アンプのもつすぐれた中高域の再現性をさらに高める“適量NFB”。ともすれば管球式アンプの弱点とされていた低域の制動力を飛躍的に

高める“DCサーボ”。異なる役割をもつ2つのNFBが互いに助け合い、まさに“デュオ二重奏”を構成して、全帯域にわたるすぐれた再生音を実現します。

管球式を超えた管球式—DCパワーの接続も、真空管を素材としたデュオ・ベータDCイコライザ、そしてシンプルな直結構成フラットアンプ。デュオ・ベータ開発のノウハウが随所に採用され、素質においてすぐれた素材—真空管のアンプ回路の諸特性をさらに改善しています。薄形のコンストラクションを採用しているにもかかわらず、大幅なプリント基板化による長期間の安定性、ノイズの抑制。とりわけDCサーボの採用による、フリッカ・ノイズ、1/fノイズなどの超低域ノイズ成分の除去、直流安定性の向上。どれをとっても、従来の管球式の枠を大きく飛び超えた内容です。



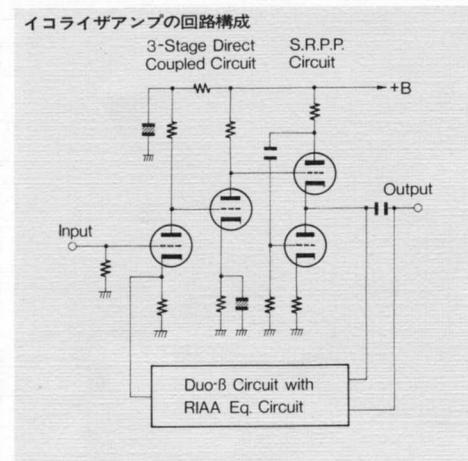
すぐれた素質を極限まで



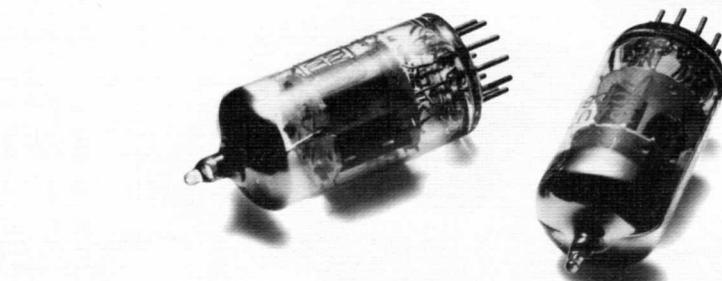
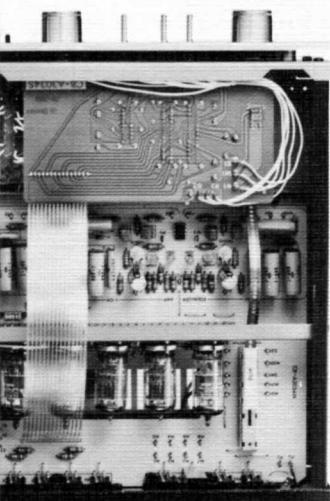
異的”なコントロール・アンプ。



景までの再現力を実現

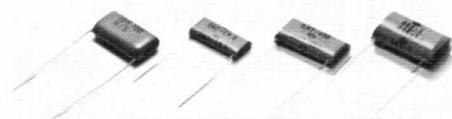


で引き出す回路技術



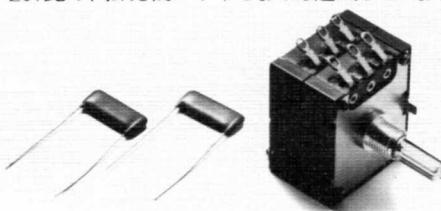
無極性コンデンサの極性を統一

デュオ・ペータ回路開発で得られたノウハウの1つ、ノンポーラ(無極性)・コンデンサも極性をもつという事実。CL34では、この極性をそろえるとともに、バイアスをかけることによりコンデンサ自身の共振まで抑圧しました。厳選されたパツを、さらに厳選して使用する。音の色付けを排し、真空管のすぐれた音楽再現性をそのまま引き出す、という思想から生まれる当然の結論です。



高精度ボリューム、 ローノイズ抵抗を厳選

コンデンサにおとらず音質を左右する抵抗。CL34は、すべての抵抗を厳選するとともに、要所にはとくに金属皮膜型を採用しています。ボリューム・コントロールにも、新開発のローノイズ、連続可変型のものを採用。音質劣化の追放とともに、SN比の向上と使いやすさまで達成しています。

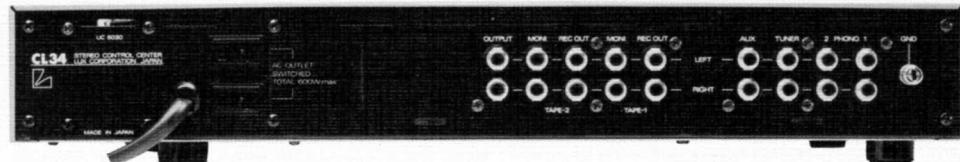


すべての入出端子に 金メッキ型を採用

小信号領域では、どんなわずかな欠落も許されない、接点ひとつで大きく音質が変化することは、いまや常識となっています。CL34は、入出力端子のすべてに金メッキを施したものを採用するとともに、端子を基板にダイレクト接続。シールド線をつかわない構造で透明な音質を実現します。

DC構成専用ヘッドホン・アンプ

音質重視の思想はヘッドホン・アンプにも。ディスクリート構成の小出力DCアンプを内蔵しています。管球式プリとDCパワーの組みあわせ。こんなことも、CL34なら考えてみたくなります。



すなおな変化特性の得られる トーンコントロール

CL34に採用しているトーンコントロールは、フラットアンプのNFBループを利用したシンプルな構成。特別なトーンコントロール・アンプなどを必要としないため、ノイズが増加することもなく、接点数が増えたり配線の引きまわしによる音質の劣化のないのが特徴です。トーンコントロールを必要としないときはディフィート・スイッチで、NFBループから完全に切り離すことも可能です。

豊富な付属機能、オプション(木箱)

快適な音楽再生に不要な低域ノイズをシャープにカットするサブソニック&ローカット・フィルタ、2系統まで接続できダビングもワンタッチのテープモニタ、ダビング・スイッチ、カートリッジを操作するとき便利なアッテネータ&シグナル・オフなどの付属機能。CL34をさらに美しくわ立ちたせる木箱(別売¥15,000)も用意しています。

SPECIFICATIONS

出 力 電 壓	定格2V、最大10V
全 高 調 波 歪 率	0.008%(2V出力時 20~20kHz)
周 波 数 特 性	3~70,000Hz(-1dB以内)
入 力 感 度	phono-I,-2;2mV, tuner+aux;170mV
入力インピーダンス	phono-I,-2;50kΩ, tuner+aux;70kΩ
SN比(IHF-A補正)	phono-I,-2;80dB, tuner+aux;100dB
許 容 入 力	300mV(phono, 1kHz, RMS)
R I A A 偏 差	±0.3dB
出力インピーダンス	pre out;560Ω, rec.out 680Ω
トーンコントロール	HIGH:ターンオーバーkHz, 可変範囲±8dB LOW:ターンオーバー300Hz, 可変範囲±8dB
付 属 装 置	フィルタ(subsonic, defeat, low cut), テープモニタ2系統 テープダビング(1▶2, 2▶1), アッテネータ ACアウトレット2系統 12AX7(4), 12AU7(4)
使 用 真 空 管	60W(電気用品取締法による)
消 費 電 力	438(幅)×77(高)mm× 322(奥行)
外 形 尺 度	6.4kg
重 量	

リアルさに息をのむ。
“音楽性”の差だろうか。



真空管はすぐれた素材だ。
ラックスは、こう確信しています。
低音が甘い、高音が伸びきらない、
そんな感覚をもたれているとしたら、
製品で、事実を証明しよう——
CL34を誕生させた、大きな理由のひとつです。
真空管という素材。
そのものの力を引き出すためには
真空管と真空管を直接、結合する。
DCアンプを構成する。
そしてデュオ・ペータ
管球式アンプの音質的な魅力を、
トランジスタを素材として実現した回路技術。
この回路技術を、もういちど
真空管にかえてやれば。
真空管——トランジスタ——真空管という、
フィードバックの考え方。
ライバルが、ライバルであることにより
自己をさらに高めるように、
真空管の可能性が極限にまで拡がる。
艶のある豊潤な響き
背景まで、霧開気までの緻密な再現。
バス・ドラム
突き刺さるBassDr.
テナー
Ten. S.の咆哮
ライブ・スポットに拡がるFlat Topのふるえ
アツさがよみがえってきた。

W-34 CL34専用リアルウッドケース ¥15,000



CL34の魅力をさらに引き立たせる専用
ウッド・キャビネットです。ローズ・ウッド
の天然ツキ板仕上げが、CL34のパネルの色調に調和して、さらに豪華さを
くわえます。ドライバ1本で、かんたん
に本体に取りつけることができ、放熱に
ついても完璧に対応しています。サイズ
はCL34を組み込んだ状態で464(幅)
×120(高)×338(奥行)mmとなります。

お求めは信用ある当店で

8025 MCカートリッジ用昇圧トランジ ¥43,000



別売、アダプターAD8000 ¥6,000

MCカートリッジの力をフルに引き出す
昇圧トランジスト8025。ラックスのトランジ
技術の結晶です。1次側捲線には、音質的
にもともとすぐれた無酸素銅線を採用。
3Ω～40Ωまでのカートリッジにすべて対
応できる捲線比を採用しています。昇圧
比は1:10.5、周波数特性は15～100kHz
とCL34との組み合わせに最適です。

ラックス株式会社

本社：豊中市新千里西町1丁目1-1 ☎06(834)2222 〒565
東京支社・営業所：東京都文京区湯島2丁目23-1-3 ☎03(833)7691 〒113
東京サービス：東京都文京区湯島2丁目23-1-3 ☎03(832)6667 〒113
大阪営業所：豊中市新千里西町1丁目1-1 ☎06(834)1131 〒565
福岡営業所：福岡市博多区博多駅前2丁目1-9 ☎092(431)7528 〒812
広島営業所：広島市西区楠木町1丁目7-1-0 ☎0822(92)2281 〒733
名古屋営業所：名古屋市名東区麻見ヶ丘4-6 ☎052(771)1524 〒465
仙台営業所：仙台市大和町1丁目3-3 ☎022(94)6262 〒983
札幌営業所：北海道札幌市西区琴似1条4丁目 ☎011(641)2271 〒063